

## 来年度への予算要望(市に242、国に44項目)提出!

### 要望書の主な項目

- I 憲法を生かした市民の暮らしと権利を守る「ルールある経済社会」をめざすこと。
- II 医療、福祉の充実、人権・市民生活を守ることに。
- III 生活環境を整備し、安全安心で暮らしやすい街づくりをすすめること。
- IV 教育・文化・スポーツの向上をはかること。
- V 市内商工業と農業の営業を守り、振興をはかること。
- VI 地方政治の充実と地方財政の確立を
- VII 公共施設個別施設計画は、市民の暮らしと利便性を優先にすすめること。
- VIII 地域の居住環境から地球環境までをまもること。
- IX 平和を守るために



9月2日 梅田市長に来年度の予算要望書を提出する議員団

日本共産党

コロナ対策・暮らし応援の補正予算に賛成

### 市長に緊急の申し入れ 七回目

コロナウイルス感染が急拡大し、久喜市でも自宅療養者が140名と急増する中、梅田市長に緊急の申し入れをしました。

- ① 無症状陽性を早期に捉える大規模検査を積極的にPCR検査を、福祉や教育の現場で働く市民や希望する市民を対象に実施する。その費用は無料とする。
- ② ワクチン接種を、スピード感を持って進める  
職場接種、進学就職を控える中学・高校の3年生など優先接種を検討することなど。
- ③ 自宅療養者をなくすために緊急措置を  
緊急に隔離療養可能な医療施設を簡易的に設置し病床を確保するため、県や市の医師会とも協議を進める。  
(議員団では元東鷲宮病院の施設の活用なども提案)
- ④ 感染拡大を防ぐ日常的対策の強化を  
血中酸素濃度を計測するパルスオキシメーターを希望する市民に貸与すること。公的施設には常時、不織布マスクを配置し、利用者には無料で配布すること。
- ⑤ 減収の業者には手厚い補償を  
減収補填・補償がされていない個人・事業者にも再申請や制度の再延期、速やかな給付を国や県と協議すること。
- ⑥ 夏休み後の学校対策として  
マスクの配布やPCR検査を「行政検査」として実施。

### 補正予算で緊急対応へ!

#### 一般会計補正予算(第6号) 補正額 6億9436万4千円

##### 主要事業

#### (1) 新型コロナウイルス感染症対策の推進

★放課後児童クラブの無線LAN環境の整備 1.432万1千円。

内容 公設の放課後児童クラブに無線LAN環境を整備し、民設に対しては補助金交付。

#### (2) 東鷲宮駅周辺の整備

★駅周辺整備と駅前広場トイレ整備 1億2689万6千円

内容 西口に、道路面のかさ上げとシェルターの設置。東口に公衆トイレの設置。

※共産党も、これまで実現を求めてきたものです。

#### 一般会計補正予算(第7号) 補正額 1191万5千円

##### 事業内容

#### ★新型コロナウイルス感染症 自宅療養者等への支援

現状 県では自宅療養者の生活支援などを実施しているが、感染者の急増に伴い、県の支援物資が届くまでに時間を要している。

内容 自宅療養者にパルスオキシメーターを翌日には貸与、衛生用品及び食料品パックを配布する。濃厚接触した家族の方の分も届ける。相談も受け保健所と連携し調整する。

## 杉野おさむ

久喜市桜田3丁目7-1-504



### 市役所は建て替えず施設は予防保全で長寿命化を図るべき

**問** これまでは、そのつど修繕してきたが、今後は予防保全の考え方で計画的に長寿命化を求める。

**答** 庁舎の老朽化やワンストップサービス（1か所で用事が足りるの、意）の提供や合併推進債の活用で財政負担軽減効果などを総合的に勘案した。

**問** いつも老朽化をいうが、老朽化劣化診断の内、中性化試験の結果はほぼ無かったとの報告が前回されたが、改めて箇所別の数値を伺う。

**答** 38カ所中、進行ゼロが32カ所。残りは16ミリ、13ミリ、5ミリ、2ミリ、1ミリ、であった。

**問** これは稀にみる良好な数値であり、こと中性化に関して市役所は、ほとんど劣化していないことを明らかにしたことになる。市民から預かった大事な資産。これからもいっそう大事に使っていくことが求められているのではないかと。市役所などに85億円、このコロナ禍でいう金額ではないと考えるが。

**答** 建て替えを今回せず、20年延ばすと合併推進債が使えなくなる。計画通り整備する。

### 東鷲宮駅地下道の漏水事故の責任を問う

**問** 約20年かかり、やっと完成直後の漏水事故である。施工業者と市が交わした契約では、瑕疵担保責任などに関してどのようになっているのか。施工業者の責任で改修させるべきではないか。

**答** この漏水の原因が受注者の責ならば、施工業者において対応すべきものと考えている。建設コンサルタント会社に確認中である。

**問** 止水目的の追加工事に問題はあったのか。

**答** 矢島組が施工した箇所とは別のところだ。

**意見** ならば本工事の設計が問題で市に責任がある。

## 平間ますみ

久喜市本町8-4-1



### エアコン設置費用と夏季加算を

**問** 生活保護受給世帯、及び生活保護基準に準ずる低所得世帯で、エアコンが設置されていない世帯数を伺う。

**答** 生活保護968世帯のうち、45世帯が設置されていない。

**問** 受給する生活保護費の中で、エアコン代の積み立ては可能と考えるか。

**答** 蓄えは難しいと思うが、計画的に対応するのは可能と考えている。

**問** 夏季加算については国の方針で支給されていない。久喜市での要望はないか。

**答** 夏季の電気代で相談を受けることはあるが、本市独自の措置は考えていない。

**問** 電気代が気になってクーラーを使わず、家庭内で熱中症になり死亡したという事例が報告されている。夏季加算を市独自の施策として行うべきと考える。

**答** 需要はあると理解しているが、市として現時点で措置を行うことは考えていない。

### 個別施設計画で示された集会所の地元との話し合いは

**問** 話し合いの状況を集会所ごとに伺う。

**答** 東町集会所は「維持管理等の施設運営は地元では困難。財政面等の支援が必要で、引き続き市で運営を」のご意見。栗原記念会館・本町集会所も、同じようなご意見。太田集会所、花みずき集会所は今後説明する。

**問** 地元の方は市で運営すべきとの考えだと思う。私も地元譲渡、除却は反対で、今まで通り市が維持管理を行うべきと考える。利用者の意見も聞くべきだが。

**答** 今地元と協議をしている段階なので他のサークル等々については協議する考えはない。

# コロナ禍でこそ、市民の命・暮らしを守れ！

## 石田としはる

久喜市栗橋東5-7-21



### 済生会栗橋病院から秋谷病院への円滑な医療継続を願って

**問** コロナ感染拡大、移転日程への影響。開院日程はどうか。

**答** 令和4年6月の移転は変更ない。秋谷病院の開院は、諸手続を経て、改修工事を進めた上開院予定。現在、新型コロナで調整の確保が難しく新たな医療提供の時期を示すことは難しい。

**問** 「産科」誘致に向け、市が病棟を確保し提供してはどうか。

**答** 病棟全体を秋谷病院が活用を考えており現在のところ考えない。

**問** 済生会加須病院へのアクセス、加須市のシャトルバスをJR栗橋駅西口に延伸することを提案して来た。協議を進めてほしいが。

**答** 済生会には移転後、久喜市の方が受診の際にアクセスとして必要となる患者数等、適切な調査等を進めてほしいと伝えている。

### 新型コロナウイルス感染 命を守ることを最優先に

**問** 自宅療養者にはパルスオキシメーターが届けられるが、現状は。

**答** 県から陽性判明後3日程度で自宅に送付されるが、今後は保健所の要請により市から翌日に自宅へお届けする。

**問** 食料物資等の送付後、その後は連絡など一切関わらないのか。

**答** 食料支援後は保健所が健康観察を実施し、市は関わらない。

**問** 物資提供で足りなくなった場合や、子どもに必要な物、アレルギーの方など個々の要望に市は応えるべき。

**答** 最短で10日間程度の療養生活だが、長期間の療養で物資不足とか、困っている状況がある場合は、連絡を受け保健所に連絡し調整する。

## 渡辺まさよ

久喜市所久喜705-311



### 東京理科大跡地の民間売却はするな

東京理科大の跡地利用は二転三転し、現在売却が進んでいる。説明では、老朽化した施設改修は長期的な財政負担とアセットの観点で公共施設の削減の必要性としてきた。

**問** 当初からの譲渡が判断ミスと思わざるを得ない。この有様をどう考えるのか。

**答** 理科大提案は市民にも受け入れ可能な提案だった。

**問** これまでの改修・維持費は総額いくらになったのか。

**答** 改修費、維持費など合計約5億6000万円になる。

**問** これは市民の税金でとんでもない事。台風の被害で分電盤修理に多額の費用がかかるとの説明だがいくらかかるのか。

**答** 数字は持ち合わせていない。民間事業者等においては、より有効な活用ができると考えている。

**問** 算出もしないで「多額の費用がかかる」などあり得ない。教育委員会を鷲宮庁舎に移転させるが、鷲宮庁舎のほうが劣化度は高い。良好な方を長寿命化し活用するのが普通だが。

**答** スペース、市民サービス、行政機能を考えた。

**問** 総面積を削り多額の費用をかけ新しい施設を造るではなく、今ある物を大切に、メンテナンスして使用すべき。

**答** 適正規模な個別施設計画を推進する。

### 国保の子どもの均等割全額免除と課税年齢引き上げを

**問** マイナンバーを使ったオンライン資格認証が国保で進められている。しかし、医療機関の7月末システム完了は3%、マイナンバーカードで診療できる施設は0.7%だ。事業にかけた経費は1,490億円になる。今後の費用は子どもの均等割の免除と年齢引き上げに使うよう国に要望すべきだ。

**答** その考えはない。別の課題である。

